

白百合女子大学

公開講座

「宮沢賢治を読む」

本学名誉教授 宮澤賢治先生

「女性と家族、そして社会」

本学元教授 長島世津子先生

「アメリカ文化と
文学に見る多義性」

本学名誉教授 土屋宏之先生

どなたでも
受講できます

【日程】

10月21日(土) 10月28日(土)
11月18日(土) 11月25日(土)
12月 9日(土) 12月16日(土) ※全6回

【受講料】1講座につき10,000円(6回通しで)
※同じ時間帯では1講座のみ受講可能です

【お問合せ先】白百合女子大学 事務局長室 担当: 荒川
TEL / 03-3326-1062
E-mail / arakawa@shirayuri.ac.jp

百年の教養と百年の幸福のために

白百合女子大学 学長 田畑 邦治



SHIRAYURI UNIVERSITY
Open Lectures
2017

人生百年と言われる時代に入りました。私たち人間は生物としての「ヒト」の時間を超えて、より豊かで持続性のある「人間」としての幸せと成長を願っています。しかし、文明の発展は必ずしも長い人生の指針を約束してくれません。いつかやってくるかもしれない様々な苦難や離別、病や死、あるいは瞬時に決断を下したり、解決しなければならない問題に遭遇したりするとき、助けとなるのは、真の「教養」です。教養は人生の飾りではなく、私たちのいのちと精神を養い、希望の芽生えを促し、一生を支える基盤となるものです。

本学ではこれまでもミッションスクールとしての特性を生かした「宗教講座」を行ってききましたが、このたび、より広く、人生の多彩な側面に触れる「教養講座」を開講することになりました。今年度はその第一歩の予備講座として、本学での長い教育経験と豊かな人生体験をお持ちの講師陣による四つの連続講座を準備しました。

私たち白百合女子大学では、これまでの伝統に根つきながら、新しい時代を前向きに生きる、自由で喜ばしい知恵を皆さんと分かち合いたいと願っております。

10:30～12:00

『宮沢賢治を読む』

宮澤 賢治先生(本学名誉教授)

賢治作品を通して、底に流れるテーマを捉え、そこから賢治の生き方、考え方を一緒に考えたいと思います。

- 第1回 「主人公の死と笑いについて考察する。」
- 第2回 「『よだかの星』『グスコブドリの伝記』『なめとこ山の熊』『二十六夜』『ひかりの素足』『土神と狐』等を読む。」
- 第3回 「賢治の異界について考察する。
- 『風野又三郎』と『風の又三郎』を読む。」
- 第4回 「あなたの為に『死ぬ』、について考察する。
- 『マリヴロンと少女』と『めくらぶどうと虹』を読む。」
- 第5回 「『銀河鉄道の夜』初期形と『銀河鉄道の夜』後期形を読む。」
- 第6回 「賢治のいわゆる『本当の幸せ』とは何だったのかについて考察する。」

10:30～12:00

『女性と家族、そして社会』

長島 世津子先生(本学元教授)

家庭は人間の基本的ニーズに最も深いかわりを持つ愛といのちのきずなである。その様々な局面に現れる女性特有の諸問題を取り上げながら、互いを生かしあうパートナーシップの在り方、家族共同体の課題と可能性等について一緒に考察したい。

- 第1回 「人間にとって家庭とは～今日の多様な家族の光と影を取り上げながら人間にとってのベシクニーズとは何か、そのための家族の役割とは何かを考える。」
- 第2回 「女性解放とは?～女性の視点で世界を見るとは何か。女性のアイデンティティは歴史の中でどのように形づくられたか、アフォリズムを通して考える。」
- 第3回 「自立を与える教育と高齢化社会の光と影～『新しい女性の創造』とシンデレラコンプレックスに見る今日の女性の課題を取り上げる。」
- 第4回 「自己受容と他者との関わり～他者とのかわりの出発点としての自己受容を考える。」
- 第5回 「親と子の関わり～フードシェアリング(共食)の今日的意義をグローバルな視点から考える。」
- 第6回 「夫と妻の関わり～様々な生活場面でどのようにお互いを一個の人格として尊重しあひ生かしあえる対等なパートナーシップを築くことができるか模索する。」
(参考文献)『結婚と家族の絆ーキリスト教人間学の視点から』長島正・世津子共著 教文館 2017

13:00～14:30

『アメリカ文化と文学に見る多義性』

土屋 宏之先生(本学名誉教授)

アメリカ文化(映画も含む)と文学における多義性を、活字と映像を通して探求します。毎回、配布される講義内容をまとめたプリントが主たる教材となります。

- 第1回 「西部劇に見る『教会』と『酒場』
- 第2回 「エリザベス・ビショップの詩に見る人とモノを捨てる究極の『断捨離』
- 第3回 「ミュージカル映画『カラミティー・ジェーン』のトランスジェンダー」
- 第4回 「小説『灰色の服を着た男』と『泳ぐ人』に見る衣服」
- 第5回 「ジョン・フォードの『駅馬車』とモーパッサンの『脂肪の塊』
- 第6回 「小説『バウンティ号の反乱』が反映するアメリカ革命とフランス革命」

